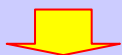


# 草津温泉

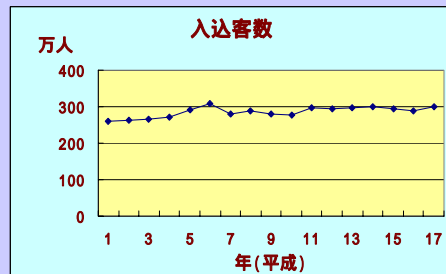
(群馬県草津町)

## 注目ポイント！

「泉質主義」により温泉のブランド化を展開。  
全町民参加による「共生」の観光地づくりを推進。



景気に左右されない安定した入込客数(約300万人)！  
アンケートで「行ってみたい温泉地」として常にランキング上位！



町のシンボル 湯畑全景

## コラム

草津の観光産業の立て直して「古さと新しさを兼ね備えた新湯治場」を掲げるとともに旅館等の事業主の方々の先頭に立ち多方面へ宣伝に出かけたことにより、観光客誘致を実現した。現在も自ら動く広告塔と称して全国各地を駆け回っている。将来は「街並み全体を世界遺産に登録したい」と魅力あふれる町づくりに取り組んでいる。



観光カリスマ 中澤 敬氏(草津町長)

## これまでの経緯

- 昭和55年(1980) 第1回草津夏季国際音楽アカデミー & フェスティバルが開催される。
- 平成 3年(1991) 第1回草津温泉サッカーフェスティバルが開催される。
- 平成 8年(1996) 旅館組合に女将の会「湯の華会」が誕生。  
第1回ツール・ド・草津が開催される。
- 平成14年(2002) 冬のイベント、キャンドルひな祭りが開始される。
- 平成15年(2003) 草津温泉「歩きたくなる観光地づくり」社会実験を実施する。  
韓国・台湾でのキャンペーンを展開。翌年は豪州、翌々年はハワイにて実施。
- 平成17年(2005) 湯畑周辺広場の整備計画を開始する。  
湯の華会が製造元とともに開発した温泉成分入り化粧品「華ゆら」の販売開始。  
「草津温泉世界語『ONSEN』フォーラム」が開催され、SpaやHot-springでは伝わらない日本固有の温泉文化を世界に発信。

## 主な取り組み

### 外国人訪日旅行の推進

ドイツ人医師ベルツ氏が、草津を「世界第一級の温泉地」と海外に紹介してから約一世紀。国が推進するビジット・ジャパン・キャンペーンに呼応して、香港、韓国、台湾、オーストラリア、ハワイなどに町を挙げての観光宣伝キャンペーンを実施し、海外からの積極的な誘客を展開。



現地プロモーションの様子

### 女将さんの創意工夫に満ちたおもてなし

旅館組合婦人部が運営している女将の会「湯の華会」は、商売繁盛と景気回復を図るため10年前に結成された。「キャンドルひな祭り」でのおもてなしや、消費カロリーを標記した「女将さんおすすめお散歩マップ」の作成、さらには草津の温泉成分入り化粧品の開発など、女性の視点ならではの様々な活動を展開。



キャンドルひな祭り

### 草津夏期国際音楽アカデミー

#### &フェスティバル

音楽家や町民をはじめとする聴衆からの熱心な支持により新たに定着した文化事業。世界的な音楽家を講師に招いての音楽アカデミーは、世界一級のザルツブルグやアスペンにも劣らないとの評価。



演奏の様子

### 盛んなスポーツ交流

スキー、ツール・ド・草津、サッカーフェスティバルなどスポーツを通じた交流が年間を通して盛んであり、中でも全国の少年・少女等、約100チームが参加するサッカーフェスティバルは15回を数える等、活発な地域交流を実施。



サッカーフェスティバルの様子

#### 問い合わせ先

草津町観光創造課

Tel : 0279 - 88 - 0001 <http://www.town.kusatsu.gunma.jp>

(社)草津温泉観光協会

Tel : 0279 - 88 - 0800 <http://www.kusatsu-onsen.ne.jp>